

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 東郷町地域公共交通会議

平成19年8月1日設置

フィーダー系統 平成29年6月27日 確保維持計画策定等

## 交通の将来像

# 公共交通が暮らしになじみ気軽に出かけたくなるまち

### 【東郷町の地域特性】

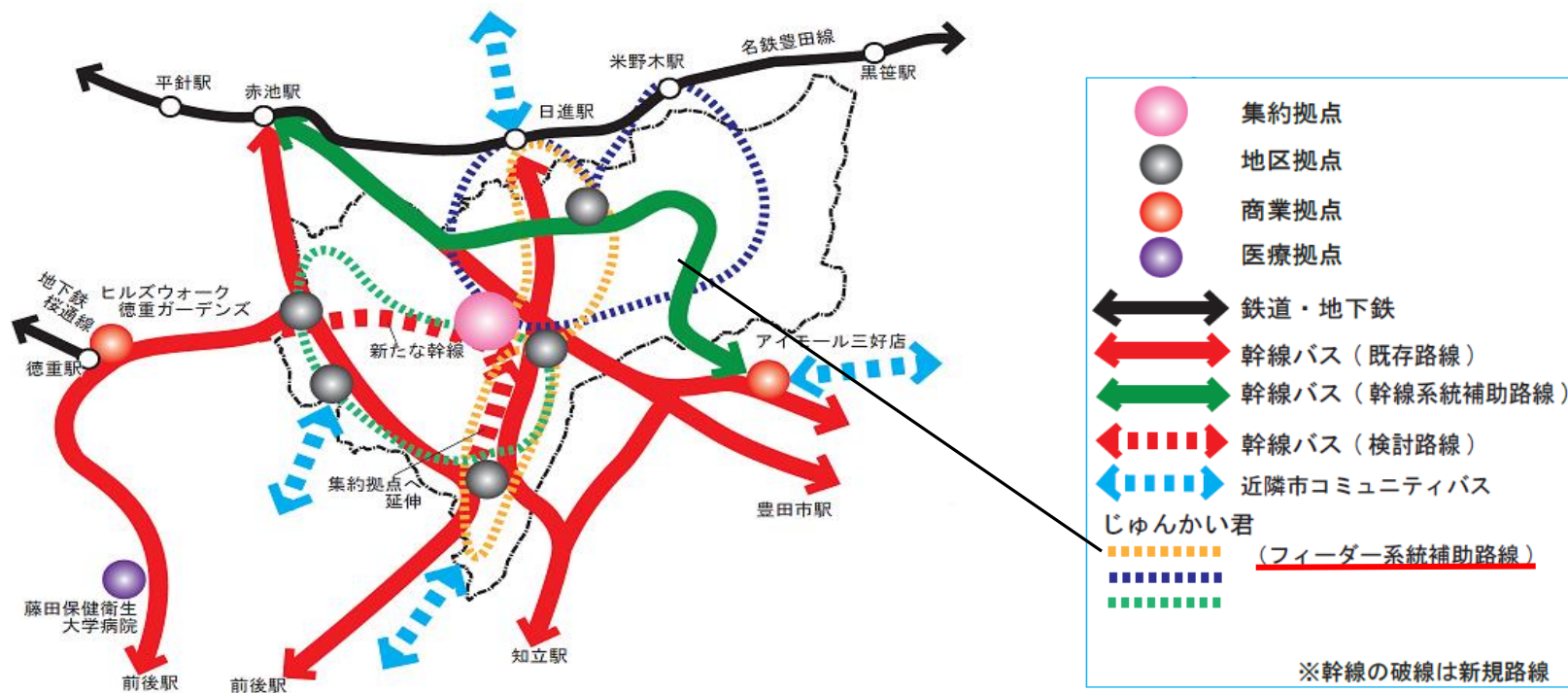
- 鉄道駅がないため、バス路線のみで公共交通ネットワークを形成。
- 名古屋市や豊田市への流動が多い。
- 近年は、近隣市で大型商業施設が開業し、本町でも今後開業を予定。

### 【計画の目標及び期間】

### 東郷町地域公共交通網形成計画(2016~2020)


#### 【基本方針】

- 1 広域的な公共交通ネットワークの形成
- 2 鉄道駅等へのアクセス利便性の向上
- 3 エコまちづくりを支える公共交通ネットワーク形成
- 4 持続可能な公共交通体系の確立と維持・活用



## 2.目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容 (Do)

事業名	概要	実績等
幹線バスの運行 【基本方針1】 【基本方針2】	名鉄バス東西線、豊明団地線の 継続的な運行	【運行本数】 東西線 4,745便/年 豊明団地線 7,912便/年 H30年7月：地域公共交通会議で利用状況に ついて報告
支線バスの運行 【基本方針1】 【基本方針2】 【基本方針3】 【基本方針4】	■巡回バスの継続的な運行 ・南北コース（フィーダー系統） ・西コース ・北コース ※南北コースは、鉄道駅及び幹線 である名鉄バス東西線に接続  ■巡回バス再編案の作成 セントラル地区への乗入れを 視野に入れた再編	【運行本数】 南北コース 3,001便/年 西コース 3,963便/年 北コース左右 5,887便/年 H30.7月：地域公共交通会議で巡回バスの 運行実績報告  H30.7月：地域公共交通会議で協議 H30.10月：地域公共交通会議で協議 H30.11月：再編に係る町民アンケート実施 H31.2月：再編に係る住民意見交換会開催 H31.3月（予定）：再編案作成
公共交通広域連携 【基本方針1】	近隣市（豊明市、日進市、みよ し市、長久手市）との広域公共 交通網の検討（H29度～ 協議 会設置）	・昨年度実施した広域公共交通アンケート 結果を踏まえた、交通事業者との路線検討  ・名城大学理工学部との共同事業により、 巡回バスのGTFSデータ作成（H30.11月）  ・Googleマップによる路線検索を尾三地区 市町で同時に開始（H30.12月）

事業名	概要	実績等
セントラル地区バスターミナル検討 【基本方針3】	エコまちづくりを実践し、町の中心核となるセントラル地区に整備予定のバスターミナルに関する検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内担当課とのバスターミナルへの乗り入れ及び施設等の検討</li> <li>・バス事業者とのバスターミナル乗り入れに関する要請及び意見交換</li> </ul>
公共交通利用促進 【基本方針4】	地域づくりと一体となった取り組み（バスを活用したまちづくりイベント等） 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.5月：「まちの出前講座」で町内老人クラブに対し、巡回バス・名鉄バスをPR</li> <li>・H31.3月（予定）：名鉄バスによる「バスの乗り方教室」を町内小学校にて開催</li> </ul> （その他） <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回バスで巡る町内見どころ紹介</li> <li>・広報紙に公共交通特集を掲載（H30.5月）</li> <li>・転入者等へのバスマップ配布</li> <li>・じゅんかい君ぬり絵の配布</li> </ul>
公共交通に対する意向調査	巡回バス再編案作成に係るアンケート内でバスやタクシー等に関する意向を調査	実施時期：平成30年11月 調査対象：町民4,000人（15歳以上） 調査内容：公共交通によるOD意向、移動手段の意向、目的地意向、税負担意向等

## 【東郷町地域公共交通網形成計画】

評価の考え方：毎年実施する個別評価と目標年度における総合評価により実施。  
東郷町地域公共交通会議で評価・検証及び改善策を検討。

## 《評価指標》

(幹線バス)

評価項目	評価基準
1 便当たり平均乗車人員	20人／便以上
収支率（運賃収入/運行経費）	現状以上
利用者満足度 ・総合的な満足度・乗り継ぎの満足度・利用しやすさの満足度	満足が半数を上回る

(支線バス)

評価項目	評価基準
1 便当たり平均乗車人員	13人／便以上
利用者満足度 ・総合的な満足度・乗り継ぎの満足度・利用しやすさの満足度	満足が半数を上回る
地域住民の支持割合	路線維持に対する賛同率は現状以上

## 【生活交通確保維持改善計画】（フィーダー系統）国庫補助事業

## 《目 標》

項目	目標
巡回バス南北コースの利用者	45,000人

【自己評価を実施した会議】 平成31年1月23日開催 東郷町地域公共交通会議

## 幹線バスの運行に関する評価

(交通網形成計画目標)

路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
町内名鉄バス	1便当たり利用者数	20人	<b>21.3人</b>	達成

路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
名鉄バス東西線	収支率	51.7%	<b>48.3%</b>	未達成

路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
名鉄バス東西線	利用者満足度	50.0%	<b>50.0%</b>	達成

### ◆目標達成状況についての考察

- ・ イベントや啓発チラシでのPR、バスロケの導入などにより1便当たり利用者数は増加
- ・ 地域幹線系統補助路線の名鉄バス東西線の利用者はイベントや啓発チラシでのPRなどから利用者は昨年比で増加

## 支線バスの運行に関する評価

(交通網形成計画目標)

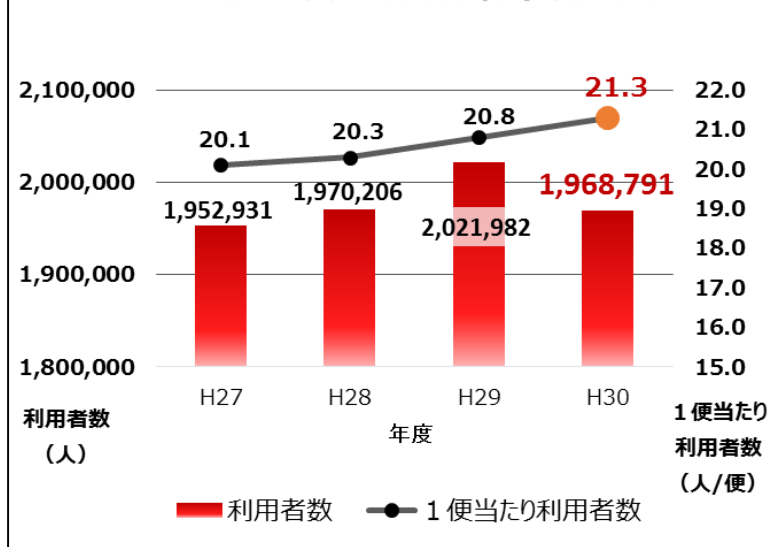
路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
巡回バス	1便当たり利用者数	13人	<b>13.8人</b>	達成

路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
巡回バス	利用者満足度	50.0%	<b>42.3%</b>	未達成

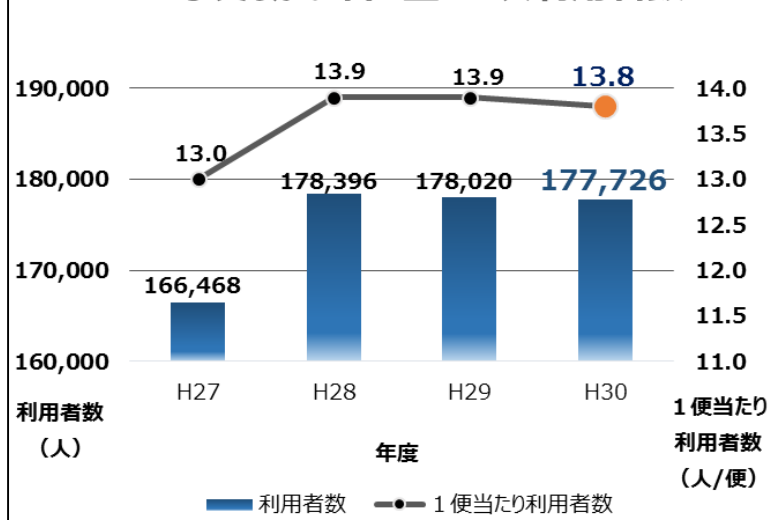
### ◆目標達成状況についての考察 (全体)

- ・ イベントや啓発チラシ、町広報紙でのPRなどにより1便当たりの利用者数を維持
- ・ 利用者数は、昨年と比較し減少
- ・ 乗り継ぎの満足度が低い(20.3%)

### 名鉄バス 町内路線利用者数



### じゅんかい君 全コース利用者数



(南北コース) フィーダー系統補助路線  
(生活交通確保維持計画目標)

路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
巡回バス	年間利用者数	45,000人	<b>45,864人</b>	達成

・ 鉄道駅及び幹線である名鉄バス東西線に接続し、町内商業施設を経由する路線であり、住民の生活交通手段として利用が増加

(北コース)

・ 2か所の鉄道駅と接続し、通勤・通学での利用が多いが継続利用者や新規利用者は微減

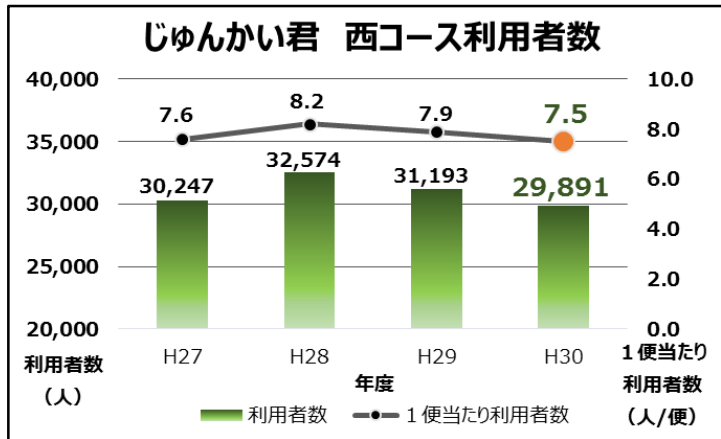
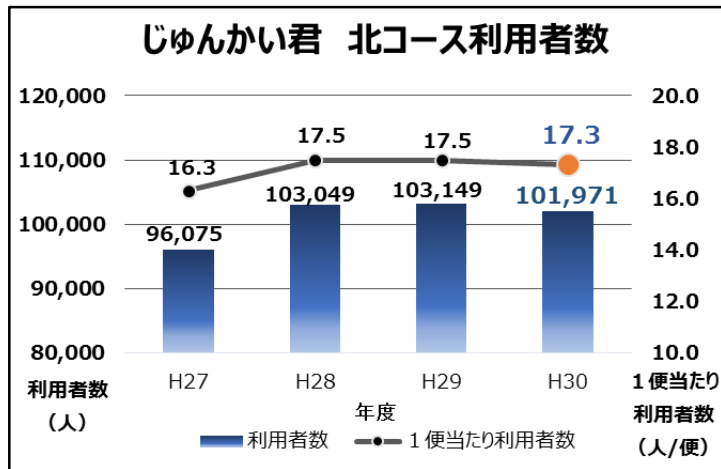
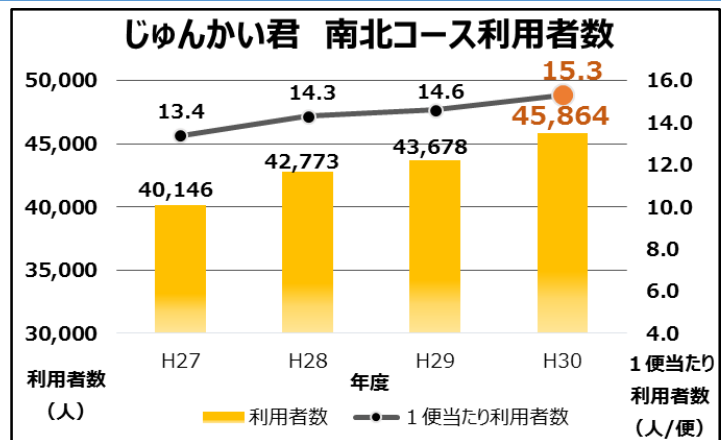
(西コース)

・ 3コースの中で唯一鉄道駅に接続していない。通勤や通学での新規利用には繋がらず、固定された高齢者の割合が多く、利用者は減少傾向

◆その他項目の評価

・ 地域住民の支持割合の評価は、公共交通アンケートで現在調査中

その他の取組内容	評価
巡回バス4条運行 (H29.10~)	更に安全・的確な運行が可能
巡回バスのG T F S化 (H30.12~)	Googleマップでの路線検索が可能
巡回バス再編案作成 (H30.4~)	巡回バスの課題を踏まえた再編案を、住民とともに作成。



## 《課題1》

名鉄バス東西線の利用者の増加を維持



## 《対応方針》

- ・バス事業者と連携したバスの乗り方教室などのモビリティマネジメントの実施（H31年度実施）
- ・イベントや啓発チラシによるバス利用促進（H31年度実施）

## 《課題2》

巡回バス全体の利用者が昨年から減少しているため、利用者を増加

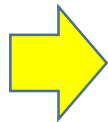


## 《対応方針》

- ・利便性向上のための巡回バスへのバスロケーションシステムの導入（H31年度以降実施予定）
- ・利用者アンケート結果の分析・整理し、再編案に反映
- ・イベントや啓発チラシによるバス利用促進（H31年度実施）
- ・子どもを対象としたバスの乗り方教室の開催（H31年度以降実施予定）

## 《課題3》

東郷セントラル地区内バスターミナルへの乗り入れ路線の実現



## 《対応方針》

- ・バスターミナルを活用した交流拠点づくりを進める。（H31年度以降実施予定）

## 《課題4》

近隣市のコミュニティバスとの連携にも配慮した利用しやすいバスネットワークの形成



## 《対応方針》

- ・尾三地区における実態調査結果の分析・整理を踏まえた、交通事業者との路線検討



平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

## 東郷町地域公共交通会議

平成19年8月1日設置

フィーダー系統 平成29年6月27日 確保維持計画策定等

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
セントラル開発を見据えた新たな公共交通網の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セントラル開発を見据えた新たな公共交通網の構築に向け、庁内担当課との検討を実施</li> <li>・近隣市及び公共交通事業者とバスターミナルの乗入れについて協議中</li> </ul>	巡回バスの再編やバスターミナルの乗入れについて協議を行い、セントラル開発を見据えた公共交通網の構築を目指す。
公共交通利用促進策の着実な実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや啓発チラシなどでの利用啓発及びバスの乗り方教室を実施</li> <li>・巡回バスのG T F S化により経路検索を実現</li> </ul>	イベントや啓発チラシなどの利用啓発を継続するとともに、バスロケーションシステムの導入などにより利便性を高める。
近隣市や交通事業者との連携による南北軸を幹線軸とするネットワークの構築	公共交通基礎調査の結果を分析し、尾三地区の現状や課題などについて協議を実施	引き続き、尾三地区の現状や課題などについて協議を行い、広域的な交通ネットワークの形成を目指す。

## 【巡回バスの経路検索を可能に】

- ・ 近隣市町の4市1町（豊明市、日進市、長久手市、みよし市、東郷町）による尾三地区広域公共交通推進協議会において、各市町（日進市を除く。）のコミュニティバスのGTF S化を同時に実施。隣接する市のコミュニティバスへの乗り継ぎ経路検索も可能となった。



## 【様々な情報発信による啓発活動】

- ・ イベントにてエコモビや巡回バス及び名鉄バス東西線のPRを実施。
- ・ 巡回バスで行ける町内の見どころを紹介するチラシを作成し利用を促進。
- ・ 町広報紙に公共交通の特集記事を掲載し、まちが目指す交通将来像を紹介。

